

創立 30 周年記念誌

五月が丘学区体育協会



もくじ

1. 発刊の言葉

五月が丘学区体育協会会长 津丸俊二 1

2. 祝辞

広島市学区体育団体佐伯区連合会会长

五月が丘連合町内会会長	古屋忠臣	2
五月が丘小学校校長	田中敏彦	3
五月が丘中学校校長	行廣秀美	4
五月が丘公民館館長	中島健二	5
元五月が丘体育協会会长	大原博實	6
	村上經治	7

3. 役員

歴代会長・副会長	8
広島市スポーツ推進委員(平成22年まで広島市体育指導委員)	9

4. 沿革

..... 10

5. 活動のあゆみ

..... 14

6. 専門部のあゆみ

..... 20

7. 資料編

表彰個人	32
団体表彰	33
佐伯区民スポーツ大会	34
わが町にこんな人が	40

8. 現スタッフ

..... 42



発刊のことば

五月が丘学区体育協会

会長 津丸俊二

五月が丘団地は、昭和48年4月に最初の入居者があり、40年を経過する歴史を持ちます。その歴史の中で、五月が丘学区体育協会が30周年を迎える、その足跡を顧みるとともに、新しい時代への礎として記念誌を発刊いたしました。

五月が丘学区体育協会は、本来昭和51年に五日市体育協会五月が丘支部として誕生し、昭和54年に五月が丘体育協会として独立、さらに、昭和60年旧佐伯郡五日市町から広島市に合併されると同時に五月が丘学区体育協会に生まれ変わりました。

当時は団地も若い人たちで溢れ活気に満っていました。団地という性格上、あらゆる地域から越してこられた人たちの集合体なのでコミュニケーション不足は否めないものがありました。

そんな時、町民を一つにしたのがスポーツでした。町内会ごとで競われた運動会、勝利を求めるながらも、町民が助け合い協力し合って一喜一憂したものでした。やがて、これらの意識がいろいろな行事に波及し、互助精神が生まれてきました。

しかしながら、少子高齢化が問われる反面、皆さんの生涯スポーツへの関心は年々高まっています。私たちは、他の団体と連携を取りながら、学区の皆さんができるクラブ活動、各種競技大会及び健康づくり運動を普及させて、地域のスポーツ振興、発展に寄与できればと思います。

これからも、役員一同は地域の皆様の深いご理解と温かいご協力をいただいて、五月が丘の伝統を生かし、社会体育の充実発展に努めてまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりになりましたが、この記念誌発刊に当たり、多くの方々の献身的なお力添えに対しまして、心より感謝申し上げてご挨拶と致します。



祝　　辞

広島市学区体育団体佐伯区連合会

会長　古屋忠臣

五月が丘学区体育協会の発足30周年、誠におめでとうございます。広島市学区体育団体佐伯区連合会（区体連）を代表して、一言祝辞を申し上げます。

30周年を迎えるに当り、役員や関係者の皆様におかれましては、「大成功で終わった行事」や「もう少し工夫をすればよかった行事、等々、全ての行事がゼロからのスタートだった事、そして一つ一つに一言では言い表す事の出来ない様々な思い出が有る事とご推察致します。

五月が丘学区体育協会は区体連主催事業や学区主催事業におきましても、常に佐伯区の中心的な存在であり、今後ともその様な団体で有り続けると確信致しています。

さて、近年少子高齢化や情報社会の進展により、人間関係の希薄が進み、社会を取り巻く環境や価値観が急激に変化しております。その様な中、学区体育協会は地域における「生涯スポーツの振興向上・健康づくり活動」の一役を担う団体として、大きな成果を得たものと受け止めています。貴学区体育協会におかれても、地域団体として同様な位置づけがなされている事と思います。

ところで、ご承知の通り広島市の健康づくり計画の『元気じゅけんひろしま2』では、「市民の健康寿命の一層の延伸を図る」という大きな目標が掲げてあります。我々としては区体連と各学区の体育協会とが連携を密にして、さらにお互いに研鑽を重ね”生涯スポーツの普及振興の進行役の組織“として地域の皆様に認められる存在でなければなりません。

その様な事を鑑みますと、時代に即した活動が必要不可欠であります。発足から30年の歴史のある五月が丘学区体育協会の担つて行く役割は、今後さらに重要となり期待されるところであります。

また、学区体育協会から区体連へ連携し絆を広げ、様々な課題に対して、共に考え、共に実践して行かねばならないと思っております。甚だ勝手な事になり恐縮ではございますが、なお一層のご協力とご支援をお願い致します。

最後になりましたが、五月が丘学区体育協会の皆様には、引き続き地域スポーツの推進役としてのご活躍と更なる目標に向かって会の益々のご発展を心からお祈り申し上げご挨拶とさせて戴きます。



祝　　辞

五月が丘連合町内会

会長　田中 敏彦

五月が丘学区体育協会、創立30周年誠におめでとうございます。貴会におかれましては創立以来、五月が丘団地においてスポーツを通じて、住民の体力向上はもとより、交流の場づくりに大きく貢献されてこられました。

また、連合町内会の行事に、いつも積極的にご協力いただき団地内の諸行事を盛り立てていただいておりますこと、御礼申し上げます。

五月が丘も入居が始まって40年あまりになり「少子高齢化社会」となってきました。世代交代の時期を迎えて、高齢者の見守りや安心安全な町づくり等の問題にも取り組んでいかなければなりません。

貴会には今後もスポーツを通じて住民の皆様に健康な体づくりや交流の場を提供していくだけるよう、益々のご発展を期待いたします。



祝　　辞

広島市立五月が丘小学校

校長 行廣秀美

このたび、五月が丘学区体育協会におかれましては、創立30周年を迎えられ、記念誌を発行されるはこびとなられましたことを、心からお祝い申し上げます。

五月が丘学区体育協会は、これまで地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・振興にご尽力されており、地域の親睦と連携の促進にも大きく寄与されてこられましたことに深く敬意を表します。

改めて申し上げることもなく、スポーツは、競技における技術力の向上や運動能力の向上、健康及び体力の保持・増進はもとより、生涯にわたり生きる力を与えてくれるものです。子どもにとっては、将来の夢や希望となるものであり、頑張る勇気や自信となるものもあります。また、共に切磋琢磨する中で、強靭な体ばかりでなく、相手を思いやる心や技の習得をすることもできます。

学区体育協会が主催されるグラウンドゴルフやペタンク等のスポーツ活動に参加させていただき、いろんな年齢層の方と親交を深めさせていただきました。また、どんどや秋祭り等の町内の行事においても、皆様が準備から後片付けまで、協力して運営しておられる姿を見ました。五月が丘の町は、人と人との絆が強い町であると感じたと共に、学区体育協会の取り組みによる人々の繋がりが、地域の大きな力になっていると思いました。

今年は、リオデジャネイロオリンピックが開催され、水泳界・陸上界・柔道界・卓球界・レスリング界・体操界での日本人の活躍・史上最高のメダルラッシュに沸きました。また、広島東洋カープが「神ってる」という流行語になるほどのズバ抜けた強さで、25年ぶりのリーグ優勝を飾りました。スポーツは、夢や希望、数々の感動を与え、日本中を沸かしてくれるものとなりました。更に4年後には、東京でオリンピックが開催されるということは、今後ますますスポーツに対する期待とニーズが高くなることが予想されます。

今まで以上に五月が丘学区体育協会が、活動を深めることで、多くの子ども達や地域の方々がスポーツに親しむことができ、地域のコミュニティの醸成の一助になってほしいと願っております。

最後になりましたが、五月が丘学区体育協会が今後ますます発展され、多くの絆や人の輪を築く中核としてご活躍されますことを心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝　　辞

広島市立五月が丘中学校

校長 中島 健二

このたび、五月が丘学区体育協会におかれましては、創立30周年をむかえられ、記念誌が発行されるはこびになりましたことを、こころからお祝い申し上げます。

学区の中学校長としてありがたく感じるのは、五月が丘学区が、各自治会や諸団体の活動に、とても活気がある地域だということです。

祭り等の地域行事、スポーツ大会、文化活動、日常の声掛け等、地域の方々のかかわりの中で、少年少女達は、社会の一員としての存在感や、所属感を育んでいただいております。

五月が丘学区体育協会の30年間という長い活動の中で、様々な影響を受けた子どもたちがいたことでしょう。

直接指導を受け、スポーツの厳しさや楽しさを身体で感じ、心に染み込ませた子どもがいたでしょう。

家庭の団欒の中で、スポーツを生き生きと語る姿に、いつか自分も夢中になれるものに出会うのだと、心に刻んだ子どももいたでしょう。

懸命に何かに取り組む姿は、人の心を打ち、温かい決心を導くものです。

また、五月が丘学区体育協会の方々はとても仲が良いと感じます。それぞれの活動を認め合い、活躍を応援し合っていると感じます。大人が仲がいいと、子どもも仲が良くなります。そのことが、故郷を愛することにもつながっていくと思います。

五月が丘学区体育協会の活動は、様々な面で地域に貢献しています。

この記念誌が、五月が丘学区につながるすべての方々にとって、過去を振り返り、現在を見つめ、未来を待ち望む、心の支えとなることを期待いたします。

五月が丘学区体育協会の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、感謝とお祝いのことばとさせていただきます。